

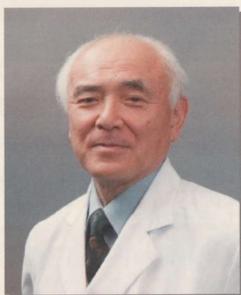
# しおかぜ



## 今年もがんばります！



### 新春にあたって



銚子市立病院  
病院長  
白濱 龍興

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

銚子市立病院も早いもので再開から1年8ヶ月が経ちました。

昨年は、内科、外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科と7診療科を展開し、外来患者さんも漸次増え続けて約4,000人を数えるまでになりました。さらに病棟のオープン（53床）、市医師会の救急当番への参加、終夜睡眠時無呼吸症候群の検査入院の開始、糖尿病教室の開催、年末には一次救急も始まりました。

まさに激動の1年、地域住民の皆様方への医療

の一翼を担わせていただける状況となりつつあり、病院再興の手ごたえを感じております。

これもひとえに地域住民の皆様方のご理解とご支援、ご協力のたまものと心から感謝しております。

### 銚子市立病院の今年の目標

本年は、手術室の再開や予防医学を視野に入れた検診業務のさらなる充実、積極的な地域医療機関との連携など、常に患者さんの目線に立ち、患者さん中心の医療の提供を追求したいと思っております。それをより現実のものとするためには、医師や看護師をはじめとする医療スタッフの充足が喫緊の課題であるということも十分周知しております。

私も銚子市の地域医療を支えるために力を振り絞って頑張る所存です。皆様方のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

この1年が皆様にとって良い年でありますように。

## 新任医師のご紹介

11月より外科医および銚子市立病院顧問・わかみや診療所長・再生機構理事として落合医師が赴任されました。



落合 武徳

私の前職は千葉大学外科学教室の教授でした。白濱院長とは千葉大学医学部の学生時代の同級生です。白濱君は自衛隊の医療のトップから銚子の病院へ来たので、元気にやっているかなと思って訪ねてきました。話を聞くうち、医師が足りなくて苦勞している事を知り、何かお力になりたいと思い、平成23年11月から月曜日の外科外来を担当しています。

銚子市立病院は数年前に閉院し、現在は再生の途上にあります。閉院前の病院は393ベッドを有

する大病院で、医師数も35名そろっていました。ある日院長が市議会に呼び出され、大変失礼な態度で赤字を追及されたので医師達がいっせいに辞めていって閉院に追い込まれたと東北大学の教授が書いた本で知りました。

今、あらためて病院を再生するに当たり銚子の市民に「人間にとって最も大切なものはなにか」を考えていただきたいと思います。「お金ですか？命ですか？健康ですか？」

お金は無ければ困ります。しかしいくらお金があっても病気では幸せとはいえません。大切なのはお金よりも健康であり、命でしょう。その大切な命を守り、健康を守るのが病院です。銚子市立病院は銚子市民の健康を守る中枢なので、現在の再生は市民にとって必須です。

現在、再生に向けて白濱先生を中心に職員一同懸命な努力をしていますが、医師が不足し、機能が十分に回復していないので、銚子市の救急車は多くの患者を市外の病院へ運んでいるのが実情です。そのような努力にもかかわらず早くも赤字を批難する声が聞こえます。市民の皆様は赤字を理由に再び病院を閉鎖するか、市民の健康を守る機能を備えた病院を再生させるかの覚悟が問われています。そのことを日本中の国民の目が見ていることをお忘れなく。

## 低線量 CT 肺検診を開始

### 《低線量 CT 肺検診について》

従来からの CT 検査に用いられる X 線量に比べ低い X 線量で行う新しい肺検診です。これまで胸部 X 線写真による肺検診に比べ、より小さい病巣まで良くわかります。

通常の肺の CT に比べ被ばく量は 5～7 分の 1 程度と少なく、5 分程度の短時間に行えます。しかも 5mm 程度の病巣も捉えられます。



### 《このような方におすすめします》

- ・ 50 歳以上になった。
  - ・ タバコを吸っている (吸っていた)
  - ・ 禁煙したい。
  - ・ 血縁者がガンになった
- などの方は健診室にご相談ください。  
(お問い合わせ：健診室 23-0561 まで)

## 経鼻内視鏡検査のおすすめ

胃や食道の病気は早期に発見できれば多くは完治させることができますが、そのためには定期的な検査が欠かせません。これまでの口からの内視鏡は、挿入時に「オエッ」となり抵抗感・恐怖感をお持ちの方も多いかもかもしれません。

しかし最近外径が約 5mm の細い内視鏡が登場し“経鼻内視鏡検査”という鼻から挿入する方法で検査できます。これだと内視鏡が舌のつけ根を通らず、のども触れないので、検査時の吐き気・不快感が軽減できます。また検査中も普通に会話ができるなどのメリットもあり、多く方が「次回も鼻から」と希望されています。

胃カメラが苦手な方、胃の調子が気になる方はぜひご相談ください。  
(内科まで)



# 骨粗しょう症と 骨密度検査

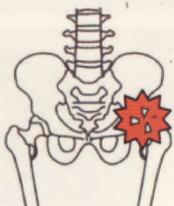
「背が縮んだ」「背中が張ったり痛む」「背中がピツパリ壁につかない」そんな症状ありませんか？

## ホントは怖い「骨粗しょう症」

骨粗しょう症とは骨の内部の密度(骨量)が減少してもろくなり、骨折しやすくなった状態をいいます。日本人の約1,000万人がこの状態にあるといわれています。

骨粗しょう症になると転倒などにより簡単に骨折を起こします。特徴的な骨折箇所は手首(橈骨)、背骨(胸椎・腰椎)や太ももの付け根(大腿骨)の骨折などです。このうち胸・腰椎や大腿骨の骨折を起こすと寝たきりの原因にもなります。

女性の場合は更年期(閉経)をむかえると女性ホルモンの低下によって急速に骨量が減少します。また若い女性でも、無理なダイエットによる急激な体重減少で骨がもろくなることもあります。中年以降1cm以上身長が縮んだ場合も要チェックです。



大腿骨骨折



リハビリ



寝たきりの  
可能性も

んか？それは骨粗しょう症のサインかもしれません。銚子市では人口の高齢化が進んでおり、骨粗しょう症の患者数もかなりにのぼると推測されます。骨折を起こさない・寝たきりにならないためにできることがあります。

正常な骨



健康な人の骨は、密度が高くて丈夫。

加齢  
栄養不足

骨粗しょう症の骨



骨粗しょう症の人の骨は、スカスカしてもろい。

運動不足や飲酒・喫煙・極端な好き嫌い(特に乳製品を取らない)・胃腸が弱い、あるいは胃腸の手術をした・病気でステロイドを使った・親が大腿骨頸部骨折を起こした、などの方は骨粗しょう症のリスクが高いと考えられます。

## 骨粗しょう症検査

### 1. 骨塩量定量検査

X線を利用して背骨や太ももの付け根の骨の量を測ります。検査台の上に横になっているだけで痛みなどはありません。検査時間は3分程です。



これまで当院では超音波を使った測定装置で測っていましたが、このたび銚子市内初の、検査精度が高い最新型の骨密度測定装置を導入しました。

### 2. 血液・尿検査

骨の破壊と形成の様子や骨を取り込むビタミン・ホルモンの働き具合を調べます。結果が出るまで数日かかります。



※これらの骨粗しょう症の検査は予約なしで当日受けることができます。整形外科の外来を受診して検査の希望をお伝えください。

# お知らせ

## ・発熱して受診される患者様へ



インフルエンザの季節となりました。カゼ症状で病院に受診される前に熱を測ってきていただきますと発熱患者専用待合室へご案内いたします。

病院での感染予防のためにも皆様のご協力をおねがいたします。

## ・[糖尿病教室]のおさそい

糖尿病は生活習慣病の1つで、その治療には自分の生活習慣(食事、喫煙、運動など)を理解・管理することが大切です。そのためには正しい糖尿病の知識を身につける必要があります。医師・看護師・栄養士がチームを作り教室を行っていきます。月1回程度の開催を予定しています。糖尿病について一緒に学んでいきましょう。(内科外来まで)



## ・2/19(日)は休日当番病院です

2/19は当院が銚子市医師会の救急患者の診療当番日にあたっています。



## ・「第4回銚子災害医療・危機管理セミナー」のお知らせ

『東日本大震災を考える』をテーマとして一般市民を対象にした、当院主催の講演会が開かれます。

講演内容:

「被災体験を語る」:佐々木和佳(音楽療法士)

「東日本大震災におけるAMDAの医療支援活動」:  
高岡邦子(医師)

「大震災後の感染症サーベイランス」:加來浩器(防衛医大准教授) 他

日時:2月18日(土)13:30~16:00

場所:銚子市保健福祉センターすこやかなまなびの城、2階会議室

主催:銚子市立病院

共催:銚子市、千葉科学大学、NPOイームスジャパン (お問い合わせ:白濱まで)

## ・耳鼻咽喉科診察日の変更について

月・火曜日の診療を担当していた遠藤医師が1月で退職になります。これに伴い耳鼻咽喉科外来は当面、木曜日のみになります。

## ・担当医・診察時間について

各科の担当医師の診察時間に変更がある場合があります。できるだけ電話などで最新の診察予定を確認のうえご来院ください。(病院受付まで)



## 病院へのアクセス



銚子電鉄観音駅から 徒歩6分  
JR銚子駅から タクシー約10分

病院へのお問い合わせは  
**23-0011** まで

## 編集後記

寒さがこたえる季節になりましたが、インフルエンザへの対策はできていますか？  
病院と市民の皆様をつなぐ架け橋になれたらと思ひ編集しています。本誌を読まれた感想などをございましたら、編集部へご連絡いただければ幸いです。

広報委員:宇野澤、岩出、根本、新野、佐々、厨川、川崎、堀米、栗橋、佐藤、白濱

しおかぜ  
2012年 新春号

平成24年1月1日発行 第3号

編集・発行  
〒288-0031  
千葉県銚子市前宿町597  
銚子市立病院 広報委員会  
TEL: 0479-23-0011  
FAX: 0479-25-5375